

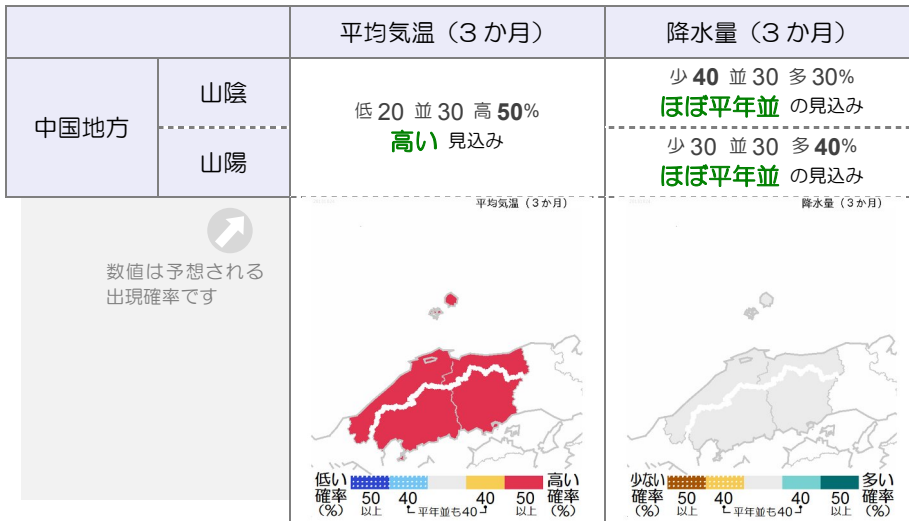
# 向こう3か月の天候の見通し 中国地方 11月～1月

## 予報のポイント

- 寒気の影響を受けにくく、11月、12月、1月の気温は高いでしょう。このため、向こう3か月を平均した気温も高い見込みです。

この時期の天候に影響の大きい北極振動の予想は難しく、現時点では考慮できていませんので、予報には不確実性があります。常に最新の1か月予報等をご覧ください。

## 3か月の平均気温・降水量


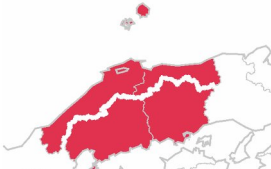








## 月別の天候

11月	12月	1月
<p>低気圧通過後に冬型の気圧配置となる時期があるでしょう。</p> <p>山陰では平年と同様に曇りや雨の日が多く、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>冬型の気圧配置は弱いでしょう。</p> <p>山陰では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>冬型の気圧配置は弱く、寒気の影響を受けにくいでしょう。</p> <p>山陰では平年に比べ曇りや雪または雨の日が少なく、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

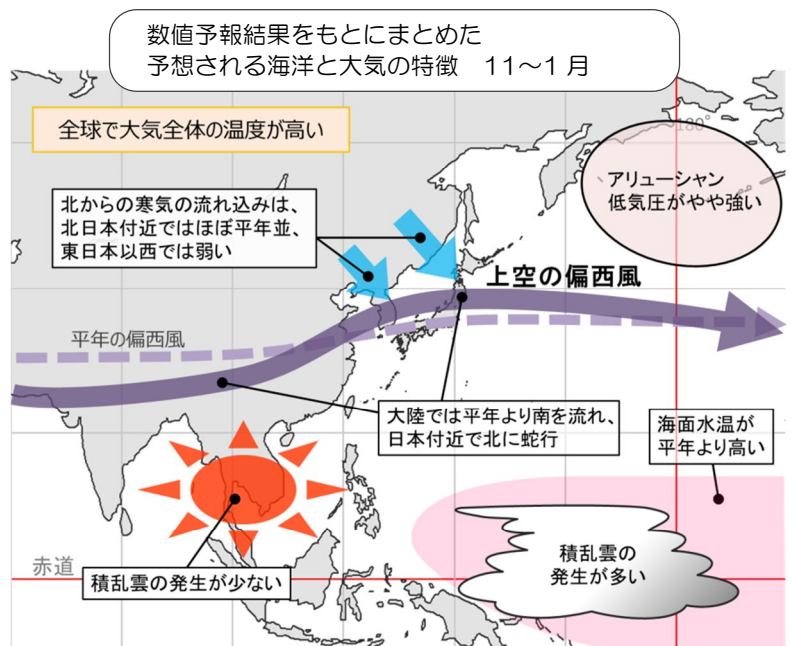
月別の平均気温・降水量

		平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
中国地方		低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み	低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み	低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み
 数値は予想される出現確率です				
		低い確率 (%) 50 40 以上 平均値も40	低い確率 (%) 50 40 以上 平均値も40	低い確率 (%) 50 40 以上 平均値も40
		高い確率 (%) 40 50 以上	高い確率 (%) 40 50 以上	高い確率 (%) 40 50 以上

		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
中国地方	山陰	少 30 並 40 多 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 30 並 40 多 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 40 並 30 多 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
	山陽	少 30 並 40 多 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 30 並 30 多 40% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 30 並 30 多 40% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
 数値は予想される出現確率です				
		少ない確率 (%) 50 40 以上 平均値も40	少ない確率 (%) 50 40 以上 平均値も40	少ない確率 (%) 50 40 以上 平均値も40
		多い確率 (%) 40 50 以上	多い確率 (%) 40 50 以上	多い確率 (%) 40 50 以上

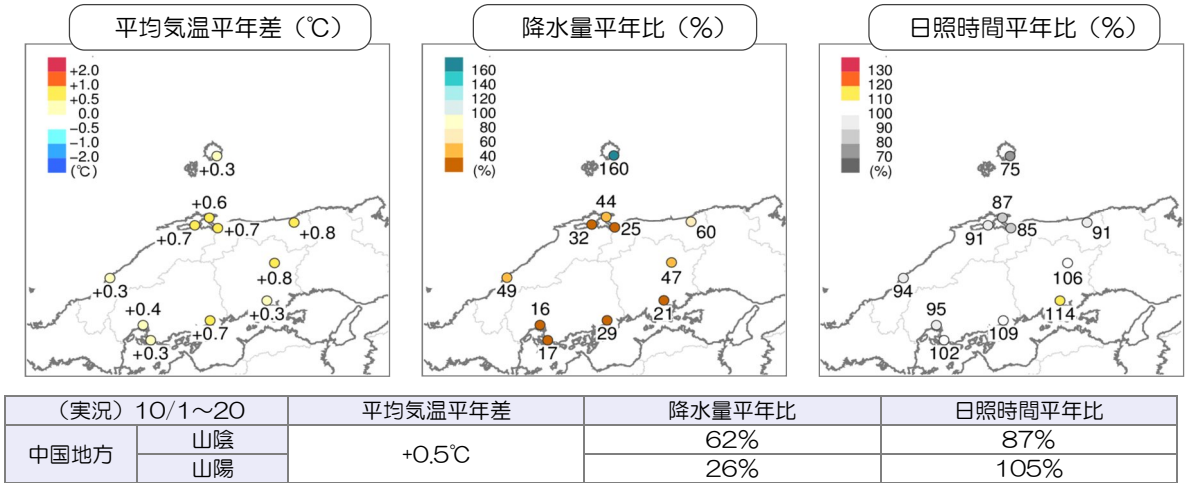
予想される海洋と大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯域では、ニューギニアの東から太平洋東部で海面水温が平年より高く、この付近では積乱雲の発生が多い見込みです。一方、ベンガル湾から南シナ海では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空の偏西風は大陸では平年より南を流れる一方で、日本付近では北に蛇行する見込みです。
- このため、東・西日本から沖縄・奄美では北からの寒気の流れ込みが弱いでしょう。
- アリューシャン低気圧は平年よりやや強く、これに近い北日本には平年と同程度に寒気が流れ込む見込みです。



今月の天候経過（実況） 10/1~20

高気圧と低気圧や前線及び寒気の影響を交互に受け、天気は概ね数日の周期で変わりました。6日は台風第25号が日本海を北東進し、大荒れの天気となった所がありました。また、18日は上空に強い寒気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となって隠岐では猛烈な雨が降った所があり、土砂災害等が発生しました。



参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
中国地方	平年差：0.0~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：0.0~+0.5℃	平年差：-0.1~+0.3℃
松江	7.6~8.1℃	11.3~11.9℃	6.8~7.5℃	4.2~4.8℃
広島	8.3~8.9℃	12.2~13.0℃	7.3~7.9℃	5.2~5.5℃

	降水量 3か月	降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
山陰	平年比：94~111%	平年比：91~115%	平年比：81~112%	平年比：83~111%
山陽	平年比：84~115%	平年比：61~111%	平年比：64~131%	平年比：64~99%
松江	384.8~446.5mm	105.6~156.0mm	104.6~156.7mm	125.3~170.2mm
広島	127.3~164.0mm	38.3~81.0mm	27.1~55.0mm	30.8~47.5mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981~2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	11月		12月		1月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	12.5日	13.1日	8.8日	15.9日	6.5日	17.9日
広島	18.4日	6.1日	19.5日	4.9日	18.1日	5.7日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み

**寒候期予報の見直しについて**  
 新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月25日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。